

転倒に関する調査のお知らせ

転倒は、環境や履物、加齢に伴う身体の変化のほか、脳卒中を発症したことで体に何らかの障害があることも原因のひとつとなります。

転倒を起こすと打撲や怪我だけではなく、骨折につながり、重症化すると寝たきりの状態になってしまう可能性もあります。

この度、小倉記念病院の総合6階病棟では、転倒の現状を過去の診療録・転倒報告書から調査することにしました。

この調査により転倒の原因を把握し、今後の転倒予防に役立て、患者様の日常生活が安全に送れるようにしていきたいと思っております。

【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院において2013年4月1日から2016年8月31日の間に総合6階病棟で転倒した患者さんを対象としています。調査対象期間内に入院した患者さんの診療録から、意識レベル、麻痺の状況、日常生活動作などについて情報を得、統計学的に解析を行います。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先へご連絡下さい。

【個人情報の管理について】

個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策をとり、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の結果の公表(学会や論文等)の際には、個人が特定できる情報は一切含まれません。

【連絡・問い合わせ先】

小倉記念病院

総合6階病棟看護師 加納亜希子

〒802-8555

北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号

電話 093-511-2000(代)

